

## 第1日目

# 私たちの口を開いてください

12月26日 午後7時

聖アンデレ主教座聖堂

歌による夕の礼拝

主教座聖堂活動委員会

# 夕の礼拝

## 前奏（オルガン）

一同、立つ。

司式者 主よ、わたしたちの口を開いてください。

会衆 わたしたちは、主の誉れを現します(詩51:15)

司式者 栄光は、父と子と聖霊に

会衆 初めのように、今も、世々に限りなく アーメン

司式者 主をほめたたえましょう

会衆 主のみ名をたたえます

司式者 主よ、わたしたちの口を開いてください。 会衆 わたしたちは、主のほまれをあらわします

司式者 栄光は、父と子と 会衆 初めのように、今も、世々に限りなく アーメン

司式者 主をほめたたえましょう 会衆 主のみ名をたたえます

# 聖歌 古今聖歌集 第19番

191674 ES SEI EIN HOCH ENTFRÜHEN  
Altes Volkslied

The image shows a musical score for three systems. Each system consists of a vocal line (treble clef) and a piano accompaniment line (bass clef). The lyrics are written below the vocal line. The first system has two lines of lyrics, the second system has two lines, and the third system has two lines. The music is in a simple, folk-like style with a steady rhythm.

エ サ イ の お よ り お い い で た る  
く す し き は な は さ き そ め け  
わ が 主 イ エ ス の う ま れ た ま し  
こ の よ き 日 よ

す し き は な は さ き そ め け  
わ が 主 イ エ ス の う ま れ た ま し  
こ の よ き 日 よ

こ の よ き 日 よ  
う ま れ た ま し  
こ の よ き 日 よ

Plan de Madame Jeanne  
Altes lateinisch-deutsches Marienlied

- 1 エサイの 根より おいいで たる  
くすしき はなは さきそめけ  
わが主 イエスの うまれ たまし  
この よき日よ
- 2 イザヤの つげし すくいぬしは  
きよき ははより うまれ ましぬ  
主の ちかいの いましなれる  
この よき日よ
- 3 たえに ととき イエスの みなのか  
おりは とおく 世に あまねし  
いざや とまに よろこび いわえ  
この よき日を

## 詩編 第85編

先唱者と会衆は一節ずつ口語に唱和する。

- 1 主よあなたはみ国に恵みを注ぎ ヤコブの栄えを新たにされた  
た
- 2 あなたの民のとがを赦し すべての罪を覆われた
- 3 激しい憤りをことごとく鎮め み怒りを和らげられた
- 4 わたしの救いの神よ 立ち帰りみ怒りを鎮めてください
- 5 あなたはみ怒りをやめることなく 世々に及ぼされるのか
- 6 再びわたしたちを生かし わたしたちに救いを与えてください
- 7 主よあなたの慈しみを示し わたしたちに救いを与えてください
- 8 神の語られる言葉を聞こう 主はその民、聖徒たち、神に信  
頼する人に平和を約束される
- 9 救いは神を畏れる人に近く 栄光はわたしたちの地に住む
- 10 慈しみとまことはともに会い 正義と平和は抱き合う
- 11 まことは地から芽生え 正義は天から見守る
- 12 主はみ恵みを注ぎ 地は豊かに実る
- 13 正義は神のみ前を進み 神の歩む道を備える  
栄光は 父と子と聖霊に  
初めのように、今も 世々に限りなく アーメン

## 第一日課 イザヤ書 第11章1～10節

会衆は着席する。

朗読者 第一日課はイザヤ書第11章1節から

<sup>1</sup> エッセイの株からひとつの芽が萌えいで

その根からひとつの若枝が育ち

<sup>2</sup> その上に主の霊がとどまる。

知恵と識別の霊

思慮と勇気の霊

主を知り、恐れ敬う霊。

<sup>3</sup> 彼は主を恐れ敬う霊に満たされる。

目に見えるところによって裁きを行わず

耳にするとところによって弁護することはない。

<sup>4</sup> 弱い人のために正当な裁きを行い

この地の貧しい人を公平に弁護する。

その口の鞭をもって地を打ち

唇の勢いをもって逆らう者を死に至らせる。

<sup>5</sup> 正義をその腰の帯とし

真実をその身に帯びる。

<sup>6</sup> 狼は小羊と共に宿り

豹は子山羊と共に伏す。

子牛は若獅子と共に育ち  
小さい子供がそれらを導く。

<sup>7</sup>牛も熊も共に草をはみ

その子らは共に伏し

獅子も牛もひとしく干し草を食らう。

<sup>8</sup>乳飲み子は毒蛇の穴に戯れ

幼子は蝮の巣に手を入れる。

<sup>9</sup>わたしの聖なる山においては

何ものも害を加えず、滅ぼすこともない。

水が海を覆っているように

大地は主を知る知識で満たされる。

<sup>10</sup>その日が来れば

エッセイの根は

すべての民の旗印として立てられ

国々はそれを求めて集う。

そのとどまる場所は栄光に輝く。

朗読者 第一日課を終わります。

## 黙 想

# マリアの賛歌 (ルカ 1:46 - 55)

一同、立つ。

1. わたしの魂は主を あがめ わたしの霊は  
救い主である神を喜び たたえる

2. 神はこの貧しい 女にも 目を留め られた

- |    |                 |     |              |               |
|----|-----------------|-----|--------------|---------------|
| 1  | わたしの魂は主を        | あがめ | わたしの霊は       |               |
|    |                 |     | 救い主である神を喜び   | たたえる          |
| 2  | 神はこの貧しい         | 女にも | 目を留め         | られた           |
| 3  | 今から後いつの世の       | ひと  | も            | わたしを幸いな女 と呼ぶ  |
| 4  | 力ある方が           | わたし | に            | 偉大なみ業を なさったから |
| 5  | 主のみ名は聖、そのあわれみ   | は   | 世々、主を敬い畏れるひと | に             |
| 6  | 主はみ腕の力を         | 振る  | い            | 思い上がる者を打ち 散らし |
| 7  | 権力を振る者をその座からおろし | し   | 身分の低い人を      | 引き上げ          |
| 8  | 飢えた人を良い物で満たし    | し   | 富んでいる人を      |               |
|    |                 |     | むなしく追い返      | される           |
| 9  | 神は父祖アブラハムとそのしそん | に   | 永遠に約束された     | ように           |
| 10 | 憐れみを            | 忘れ  | ず            | 僕イスラエルを助け られた |
|    | 栄               | こう  | は            | 父と子と聖 れいに     |
|    | 初めのように、         | いま  | も            | 世々に限なく アーメン   |

## 第二日課 ルカによる福音書 第10章1～12節

会衆は着席する。

朗読者 第二日課はルカによる福音書第10章1節から

<sup>1</sup>その後、主はほかに七十二人を任命し、御自分が行くつものすべての町や村に二人ずつ先に遣わされた。<sup>2</sup>そして、彼らに言われた。「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫のために働き手を送ってくださるよう、収穫の主に願いなさい。<sup>3</sup>行きなさい。わたしはあなたがたを遣わす。それは、狼の群れに小羊を送り込むようなものだ。<sup>4</sup>財布も袋も履物も持って行くな。途中でだれにも挨拶をするな。<sup>5</sup>どこかの家に入ったら、まず、『この家に平和があるように』と言いなさい。<sup>6</sup>平和の子がそこにいるなら、あなたがたの願う平和はその人にとどまる。もし、いなければ、その平和はあなたがたに戻ってくる。<sup>7</sup>その家に泊まって、そこで出される物を食べ、また飲みなさい。働く者が報酬を受けるのは当然だからである。家から家へと渡り歩くな。<sup>8</sup>どこかの町に入り、迎え入れられたら、出される物を食べ、<sup>9</sup>その町の病人をいやし、また、『神の国はあなたがたに近づいた』と言いなさい。<sup>10</sup>しかし、町に入っても、迎え入れられなければ、広場に出てこう言いなさい。<sup>11</sup>『足についたこの町の埃さえも払い落として、あなたがたに戻す。しかし、神の国が近づいたことを知れ』と。<sup>12</sup>言うておくが、か

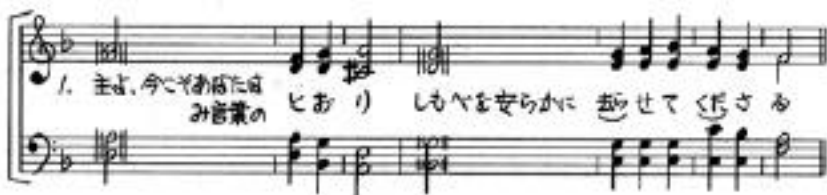


の日には、その町よまだソドムの方が軽い罰で済む。」

朗読者 第二日課を終わります。

一同、立つ。

## シメオンの賛歌 (ルカ 2:29 - 32)



- 1 主よ、今こそ、あなたは  
み言葉の とおり 僕を安らかに 去らせてくださる
- 2 わたしは この目で 主の すくいを見た
- 3 これは 主 が 万民のために 備えられた すくい
- 4 すべての人を照らす ひかり み民 イスラエルの 栄光  
栄 こうは 父と 子とせいに  
初めのように、 いまも 世々に 限りなく アーメン

説教 東京教区主教 竹田 眞

## 使徒信経

わたしは、天地の造り主・全能の父である神を信じます。また、そのひとり子・主イエス・キリストを信じます。主は聖霊によってやどり、おとめマリヤから生まれ、ポンテオ・ピラトのもとで苦しみを受け、十字架につけられ、死んで葬られ、よみに降り、三日目に死人のうちからよみがえり、天に昇られました。そして全能の父である神の右に座しておられます。そこから主は生きている人と死んだ人とを審くために来られます。

また、聖霊を信じます。聖なる公会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、永遠の命を信じます。 アーメン

一 同

The image shows a musical score for the Credo in Latin. It consists of two systems of music. The first system has three measures, and the second system has four measures. Each system includes a vocal line (soprano) and a piano accompaniment (treble and bass clefs). The lyrics are written in Latin and Japanese. The key signature is one sharp (F#), and the time signature is common time (C). The lyrics are:   
System 1:   
Measure 1: わたしは、 天地の造り主、   
Measure 2: 全能の父である 神を信じます。   
Measure 3: また、そのひとり子、 主イエス・キリストを信じます。   
System 2:   
Measure 1: 主は聖霊によって やどり、   
Measure 2: おとめマリヤから 生まれ、   
Measure 3: ポンテオ・ピラトのもとで 苦しみを受け、   
Measure 4: 十字架に つけられ、

110H 110H 110H  
 死んで葬られ、 三日目に死人の 天に せして全能の父 座して  
 よみに葬れ、 うちからよみがえり、 昇天されました。 である神の右に おられます。

110H 110H 110H  
 せから主は 着くために きた、聖霊を 聖なる 聖徳の 罪の  
 生きている人と死人を 来られます。 信じます。 公衆、文の、並し、

110H  
 体の 永遠の命を アーメン  
 よみがえり、 信じます。

## 献 金

## 聖歌 古今聖歌集 第383番

- 1 きみは あめなる さかえを すてて  
くらき この世に くだり たまえり  
われは 主の ため なにをか すてし
- 2 きみ わが ために なやみを おいて  
いく としつきを すごし たまえり  
われは 主の ため いく日を へしや
- 3 すくい の めしは わが 死に かわり  
ちしおを ながし いのちを あとう  
われは 主の ため なにを ささげし
- 4 きみは すきいと つきぬ いのちと  
ちちの たまもの さずけ たまえり  
われは 主のため なにを そなえし
- 5 いま よりのちは 世に ある かぎり  
うきと たのしみ わが みと たまを  
めぐみの きみに おします ささげん

きんにあめなる さかえをすてて

くらきこのよに くだりたーまより

われはしゆのため なにかーすてし

Try Sin was given for me  
Francis R. Havergal, 1858

司祭 全能の父なる神よこの信施を受け、主のみ業のために用  
いてください

会衆 すべてのものは主の賜物。わたしたちは主から受けて主に  
献げたのです **アーメン**（歴代上29:14）

# 祈り

一同ひざまずく。以下、特禱までを歌う

司式者 主よ、憐れみをお与えください。

会衆 キリストよ、憐れみをお与えください。

司式者 主よ、憐れみをお与えください。

(聖公会 ローマカトリック共通訳)

天におられるわたしたちの父よ、

み名が聖とされますように。

み国が来ますように。

みこころが天に行われるとおりに地にも行われますように。

わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください。

わたしたちの罪をおゆるしてください。わたしたちも人をゆるします。

わたしたちを誘惑におちいらせず、悪からお救いください。

国と力と栄光は、永遠にあなたのものです。 アーメン

司式者 会衆

主よ、あわれみを ください。おれにえ。  
和以、あわれみをおあたえください

司式者 一 同

主よ、あわれみをおあたえください。  
天におられる 神が聖と わたしたちの父よ、  
されまう様に。

み国が 栄ます ように。  
み心がまに 行なわれ、 世にも行な わたしたちの 今日や

わたしたちの おゆるし 罪を ください。  
わたしたちを 人を ゆるします。  
わたしたちを 憐れにおいらせす。

悪から お救いください。  
国とカと栄光は、 永遠にあなたのものです。  
ア - メン

ここで司式者は立つ。

司式者 主よ、主の慈しみを示し

会衆 **主の救いを与えてください**(詩85:7)

司式者 主の仕え人に義をまとわせ

会衆 **主の聖徒に喜び歌わせて下さい**(詩132:9)

司式者 主の民を救い

会衆 **主の子らを祝福してください**(詩28:9)

司式者 主の平和をいまの世に与え

会衆 **地の果てまで、戦いをやめさせてください**(詩46:9)

司式者 主の道をあまねく地に知らせ

会衆 **主の救いをすべての国に知らせてください**(詩67:2)

司式者 主よ、わたしたちのうちに清い心を造り

会衆 **聖霊によって支えてください**(詩51:10,12)

司式者 主は皆さんとともに

会衆 **また、あなたとともに**

司式者 祈りましょう



司式者 会衆

主よ、主のいつくしみをしのし 主の救いをあたえてください

司式者 会衆

主の仕え人に義をまじわせ 主の聖徳によろこびうたわせてください

司式者 会衆

主の民をすくい 主の子らを祝福してください

司式者 会衆

主のへいわを今世にあたえ 地の果はて、戦いをやめさせてください

司式者 会衆

主の道をあまねく地に知らせ 主の救いをすべての國に知らせてください

司式者 会衆

主よ、わたしたちのうちに清い心をつくり 聖徳によつてささえてください

司式者 会衆 司式者

主は皆さんとともに また、あなたとともに 祈りましよう

## 特 禱（ミレニアム・ヴェナ特禱）



限りない愛によってこの世界のすべてを創造された全能の神よ、あなたは地の民を深く憐れみ、平和のおとづれを告げ知らせるため、御子をお遣わしくされました。そして御子はそのご生涯とご受難・ご復活を通して、わたしたちに和解と新生の道を示してくださいました。新しい千年紀を迎えるこのとき、わたしたちが主のみ心を深く思い巡らし、和解のみ業を今も成し遂げられる主を覚えて祈ります。主よ、比べることのできないみ力により、正義と愛と平和の支配を確立してください。わたしたちが、熱心に神と人々とに仕え続けることができますよう、わたしたちの営みを祝福し、励ましてください。わたしたちがともに主にあって平和を創り出す者とされますように、わたしたちの救い主イエスキリストによってお願いいたします。 **アーメン**



## 平安のため



親しみを好み、平安を与えて下さる神よ、永遠の命は主を知ること、完全な自由は主に仕える」ことにあります。どうか主のしもべらをすべての敵から守り、わたしたちがあらゆる困難を恐れず、堅く主に頼ることができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。 **アーメン**



## み守りのため



光の源である主よ、この世の闇を照らし、豊かな憐れみをもってわたしたちを守り、今夜の危険をことごとく防いでください。独りのみ子、救い主イエス・キリストの慈しみによってお願いいたします。 **アーメン**



# アンセム

平和を願う祈り(アンジのフランシスの祈り) 李建(イ・ゴニョン)

城南グループ教会協議会聖歌隊および有志

## 代禱 黙禱

## 祝 禱

主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、わたしたちとともにあますように。 **アーメン** (IIコリント13:13)

(節度にて) 888 (L.M.) TALLEY'S CANON  
Thomas Tallis, c. 1571

さかえあるかみよきうのたましのお

おたけきめぐみをおめしたえまつるアーメン

Come to thee, my God, this night  
Thomas Ken, 1642

## 聖歌 古今聖歌集 第189番

- 1 さかえある かみよ きょうの たまもの  
ゆたけき めぐみを ほめたたえ まつる
- 2 みいつの いさお にて つみ とがを ゆるし  
こころの せめ なく ふしどに つかせよ
- 3 みつばさの もとに やすけく いこいて  
ちからも あらたに めざめさせ たまえ
- 4 ねむらぬ とこにも みことばを おもい  
くらき いきおいの おそいを 去らせよ
- 5 はかに いぬる よも ふしどに いるごと  
ひかりに めさむる あさを のぞませよ
- 6 あめにも つちにも めぐみの あふふる  
ちち みこ みたまの みなに さかえあれ

## 後 奏(オルガン)

式文用曲譜:武田喜久子 曲